

平成 2 7 年第 3 回定例会（1 2 月議会）

予算特別委員会農林水産分科会
付託議案関係資料

（補正予算関係）

平成 2 7 年 1 2 月 3 日

農 林 水 産 部

目 次

○補正予算関係

- 1 青年就農給付金〔農林政策課〕 ----- 1
- 2 (新) ハタハタ資源再生緊急対策事業〔水産漁港課〕 ----- 2

○その他

- 3 農林水産部所管の公の施設の指定管理者の指定について〔農林水産部〕 ----- 4

1 青年就農給付金

農林政策課

青年の就農意欲の喚起と営農定着を図るため、就農前の研修期間（2年以内）及び経営が不安定な就農直後（5年以内）の所得を確保する給付金を支給する。

1 事業内容

(1) 青年就農給付金（準備型）

就農を目指す青年が、県が指定する研修機関や先進農家等で研修を受ける場合、給付金を支給する。

- ・対象者 就農予定時の年齢が、原則45歳未満の者
- ・給付金額 1,500千円／人・年
- ・給付期間 最長2年間
- ・補正理由 支給対象者数の増加による
(当初予定者数：33人、実績見込み数：37人)

(2) 青年就農給付金（経営開始型）

人・農地プランに位置づけられている（又は位置づけられると見込まれる）新規就農者に対し給付金を支給する。

- ・対象者 独立・自営就農時の年齢が、原則45歳未満の新規就農者
- ・給付金額 1,500千円／人・年
- ・給付期間 最長5年間
- ・補正理由 支給対象者数の増加による
(当初予定者数：207人、実績見込み数：217人)

2 事業主体

- (1)：(公社) 秋田県農業公社
- (2)：市町村

3 予算額

20,850千円（諸収入）

(負担金補助及び交付金 20,850千円)

4 事業年度

平成24年度～

【参 考】青年就農給付金の予算概要

単位：千円

事業内訳	予算現計	補正額	補正後
青年就農給付金	239,525	20,850	260,375
給付金事業推進費	4,489	0	4,489
計	244,014	20,850	264,864

2 ハタハタ資源再生緊急対策事業（新規）

水産漁港課

ハタハタ資源が急激に減少していることから、その資源再生を図るため、ふ化放流や産卵場の調査を実施するとともに、漁獲量を適正管理するための集出荷体制を構築する。

1 事業内容

(1) 資源回復ふ化放流事業

秋田県漁協と連携し、県内の主要漁場において、定置網に産み付けられた付着卵や海岸への漂着卵を利用したふ化放流を行う。

ア 県実施分

- ・実施箇所 象潟漁港ほか7カ所
- ・ふ化放流数 1千万粒

イ 漁協実施分

- ・実施箇所 象潟漁港ほか7カ所
- ・ふ化放流数 1千万粒
- ・補助率 定額（1／2相当額）

(2) 産卵場規模拡大試験・分布状況調査

一部漁場では産卵藻場の規模の縮小が見られることから、産卵藻場の分布状況等を調査するとともに、人工海藻の設置による産卵藻場の造成試験を行う。

- ・産卵藻場の分布調査 能代港ほか4カ所
- ・産卵藻場の造成試験 船川港

(3) 資源管理型集出荷体制構築事業

漁獲量を適正管理するための集出荷体制の構築に向け、漁協が実証する無選別出荷の効果検証を行う。

- ・実施箇所 秋田県漁協本所及び4支所

2 事業主体

- (1)：県、秋田県漁協
- (2)：県（水産振興センター）
- (3)：県

3 予算額

26,784千円（繰入金：農林漁業振興臨時対策基金）

- (1)：20,787千円

委託料	13,857千円
負担金補助及び交付金	6,930千円
- (2)：5,501千円（需用費、役務費等 5,501千円）
- (3)：496千円（委託料 496千円）

4 事業年度

平成27～29年度

ハタハタ資源の再生に向けた取組について

【現状と課題】

- 平成7年の解禁以降、順調に回復していたハタハタ資源は減少傾向が平成25年から顕著になり、今漁期の秋田県の漁獲対象資源量は2,000トン程度と危機的な状態。
- 主な要因は、海水温の上昇による藻場の縮小、時化や大雨による産卵藻場機能の消失に加え、漁獲システムに集計されないハタハタが一定量存在し、資源管理の不徹底が影響と推察。
- ハタハタ資源が急激に減少していることから、その資源再生が喫緊の課題。

漁業者等の自主的取組

- 漁獲枠を昨年から半減の800トンとする厳しい漁獲制限
- ふ化放流活動の実施
- 資源管理のための集出荷体制の整備

自主的取組を支える県の支援

【資源回復の取組】

01 資源回復ふ化放流事業

- ① 県によるふ化放流支援
- ② 漁業者自らによるふ化放流

【20,787千円】

項目\年	H27	H28	H29
県実施分	1,000万粒 (13,857千円)	○	○
漁業者分	1,000万粒 (6,930千円)	○	○

02 産卵場規模拡大試験・分布状況調査

- ① 緊急的な藻場調査
- ② 人工藻場の設置

【5,501千円】

項目\年	H27	H28	H29
藻場調査	5カ所 (1,455千円)	—	—
人工藻場設置	1カ所 (4,046千円)	(4カ所)	(4カ所)

※H27は1カ所で先行実施
※H28以降はH27の調査等の結果に基づき実施

【資源管理の徹底】

03 資源管理型集出荷体制構築事業

- ① 漁獲量把握のための漁協への無選別出荷の実証と効果検証
- ② 漁協の資源管理型集出荷システムの本格導入を支援

【496千円】

項目\年	H27	H28	H29
効果検証	県実施 (496千円)	(○)	—
本格導入支援	—	(○)	(○)

※H27は漁協が実証
※H28以降はH27の検証結果に基づき実施

※金額：予算額

【期待される効果】

県の魚であるハタハタの資源回復と適正な資源管理

3 農林水産部所管の公の施設の指定管理者の指定について

農林水産部

1 議案の概要

議 案	施 設 名 称	指 定 管 理 者
第278号	秋田県花き種苗センターの観賞温室及び花の広場	昭和総合開発(株)
第280号	秋田県岩館漁港海岸休憩施設	八 峰 町
第281号	秋田県森林学習交流館	(株)サンアメニティ

※ 指定期間：平成28年4月1日～平成33年3月31日（5年間）

2 指定管理者の候補者の選定経緯

「指定管理者の候補者選定委員会」において、申請団体から提出された事業計画書等をもとに、「施設の設置目的の効果的な達成」や「効果的な管理」等についての評点を踏まえ、総合的観点から検討を行い、最も適当と認められる団体を指定管理者の候補者として選定した。

【参考】指定管理者の候補者選定委員会

- ・ 開催日 平成27年10月28日（水）
- ・ 委員構成 外部委員3名（高橋真一、小山清司、佐藤喜八郎）
部内委員2名（奈良博、出雲隆志）
- ・ 選定結果

○秋田県花き種苗センターの観賞温室及び花の広場

選定基準	1 県民の平等 利用の確保	2 施設の設置目的 の効果的な達成	3 効果的な管理	4 適正かつ確実な 管理を行う能力	合 計
申請団体	確保されたい	(満点：60点)	(満点：10点)	(満点：30点)	(満点：100点)
昭和総合開発(株)	○	44.6	6.8	19.1	70.5
総合評価（選定結果）					
○ 当該団体は、これまでの管理実績も十分であり、全体としてバランスよく評点を獲得している。					
○ 財務指標数値も健全性を有しており、経営状態は安定していると判断される。					
○ 施設の設置目的である花きの消費拡大及び花きを観賞する機会を提供するため、様々な企画をして積極的に事業に取り組んでいる。また、観葉植物なども良く管理され施設も活気を呈している。					
◎ これらのことから、昭和総合開発(株)を指定管理者の候補者として選定することに決定した。					

○秋田県岩館漁港海岸休憩施設

選定基準 申請団体	1県民の平等 利用の確保 (確保されなければ失格)	2施設の設置目 的の効果的な 達成 (満点：30点)	3効果的な管 理 (満点：20点)	4適正かつ確実 な管理を行う 能力 (満点：30点)	5その他必要 な事項 (満点：20点)	合 計 (満点：100点)
八 峰 町	○	18.7	12.8	19.8	12.8	64.1
総合評価（選定結果）						
○ 当該団体は、これまでの管理実績も十分であり、全体としてバランスよく評点を獲得している。						
○ 経営状況は、平成19年6月に制定された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律（自治体財政健全化法）」の4つの指標から判断した結果、健全な財政状況である。						
◎ これらのことから、八峰町を指定管理者の候補者として選定することに決定した。						

○秋田県森林学習交流館

選定基準 申請団体	1県民の平等 利用の確保 (確保されなければ失格)	2施設の設置目 的の効果的な 達成 (満点：50点)	3効果的な管 理 (満点：10点)	4適正かつ確実 な管理を行う 能力 (満点：40点)	合 計 (満点：100点)
(株)サンアメニティ	○	32.0	6.6	27.5	66.1
(株)アキタパークホテル・マネージメント	○	32.7	6.0	23.7	62.4
総合評価（選定結果）					
○ (株)サンアメニティは、(株)アキタパークホテル・マネージメントと比較して殆どの審査項目において同等以上の評点であり、全体としてバランスよく評点を獲得し、評点の合計も高い。					
○ (株)サンアメニティは、施設の設置目的である森林・林業に関する学習や研修の企画が具体的であった。(株)アキタパークホテル・マネージメントは、食堂の活用計画や秋田産にこだわる料理といった取り組みについて提案があった。					
◎ 総合的な観点から、(株)サンアメニティを1位、(株)アキタパークホテル・マネージメントを2位とし、(株)サンアメニティを指定管理者の候補者として選定することに決定した。					